

令和8年度

授業シラバス・
年間指導計画

英語
(2年)

令和8年度 岡山県立倉敷天城高等学校 普通科2年 シラバス

教科名	科目名(校内名称)	単位数	教材
外国語	英語コミュニケーションⅠ (L英コミュ)	3	教科書:Handwriting English Communication II(桐原書店) 副教材:Jr. Effective 3訂版(エスエ出版)

学習のねらい	<p>外国語によるコミュニケーションにおける見方・考え方を働かせ、以下の5つの領域において言語活動及びこれらをつなぎつけた総合的な言語活動を通して、情報や考えなどを的確に理解したり、適切に表現したり伝え合ったりするコミュニケーションを図る資質・能力を養う。</p> <p>① 外国語の4技能について、実際のコミュニケーションにおいて活用できる知識・技能を身に付ける。外国語の学習を通して、言語の働きや役割などを理解できるようにする。(知識・技能)</p> <p>② 場所・目的・状況などに応じて、日常的・社会的な話題について、情報や考えなどを外国語で的確に理解したり適切に伝え合ったりできるようにする。(思考力・判断力・表現力)</p> <p>③ 外国語の背景にある文化に対して理解を深め、聞き手・読み手・話し手・書き手に配慮しながら、外国語で聞いたり、読んだりしたことを活用して自分の意見や考えなどを話したり書いたりしようとしている。(主体性)</p>
--------	---

授業形態 アドバイス など	<p>本コースの授業です。2年次の英語コミュニケーションⅡの授業は、1年次で学習した内容を発展させたものになります。1年次に身につけたことを土台にして、少し長めの文を論理的に読むことを大切にしましょう。復習も必ず必要です。また、提出物は期限を守ってください。そのためには、計画的な取り組みが必要です。</p>
---------------------	--

評価の観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
評価の基本的な考え方	<p>外国語の4技能について、実際のコミュニケーションにおいて活用できる知識・技能を身に付けている。外国語の学習を通して、言語の働きや役割などを理解している。</p>	<p>場所・目的・状況などに応じて、日常的・社会的な話題について、情報や考えなどを外国語で的確に理解したり適切に伝え合ったりしている。</p>	<p>外国語の背景にある文化に対して理解を深め、聞き手・読み手・話し手・書き手に配慮しながら、外国語で聞いたり、読んだりしたことを活用して自分の意見や考えなどを話したり書いたりしようとしている。</p>
身にたい生活様式(習慣・能力)との関連	<p>教養力:幅広い教養と課題発見・解決のための知識・技能</p>	<p>思考力:論理的に考え、批判的に掘り下げ、創述する力 表現力:思考・判断の結果や経過をわかりやすく伝える力</p>	<p>協働力:多様な他者とコミュニケーションをとり協力する力 省察力:自らの行動を振り返り改善し前に踏み出す力</p>
主な評価方法	<p>○定期考査 ○小テスト ○授業・発表内容の観察 ○授業ノート・提出課題の点検 ○ワークシート・アチーブメントチェック</p>	<p>○定期考査 ○小テスト ○授業・発表内容の観察 ○授業ノート・提出課題の点検 ○ワークシート・アチーブメントチェック</p>	<p>○授業・発表態度の観察 ○プレゼンテーションの観察 ○提出課題の点検 ○アチーブメントチェック(学習の振り返り)</p>

学期	学習内容	学習の到達目標		
		知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
L3 The World's Most Bicycle-friendly City	自転車利用についてのクイズを聞いて、概要や詳細を読み取る。本文を読んで、概要や詳細を理解し、情報を意見と事実に分類する。	海外の自転車政策についての記事を読み、その内容についてリテリングを行う。自転歩を利用しやすくなる方法について話し合う。	自分の町で自転車を利用しやすくするための解決策を発表する。	
L4 Can You Feel Emotions in Text?	顔文字に関する論証文を読んで、情報を収集してまとめることができる。	日本で使用される顔文字と他国で使用される顔文字の違いを説明することができる。	顔文字を使用した際に生じる誤解に悩む友人に、助言を与えることができる。	
L5 Background Music and Sharks	BGM がサメの印象に与える影響についての報告文を読んで、要点や詳細を理解することができる。	サメの映像を使った実験の目的・結果・考察を整理し、他の人に説明することができる。	特定の場面で、どんなBGMを使うのが効果的かを理由とともに考えることができる。	
L6 The Benefits of Play	遊びの利点に関する実験の報告文を読んで、要点や詳細な情報を理解・整理することができる。	実験結果から導き出される結論を整理して、ナレーション原稿を作成することができる。	ゲームの長所または短所について、相手の意見を認めたりして、自分の意見を述べることができる。	
L7 Nursing in a War Zone	国境なき医師団の看護実態や白川さんの意見を読んで、その情報を整理することができる。	整理した情報をもとに、国境なき医師団に興味がある友人に、白川さんの仕事について話すことができる。	国際協力ボランティア活動への参加申込書に、必要事項を適切に記入することができる。	
L8 Hawaii's Debate about a Sacred Mountain	ハワイの最新天文台設置に関する議論を読み、賛成派と反対派それぞれの論点を正確に理解することができる。	賛成派と反対派の考えを比較・評価し、それらの要点をまとめて発表することができる。	「科学の進歩に伝統を守ることも重要」という命題について、自分の立場と理由を述べることができる。	
L9 The Next Wave in Artificial Language	ロボットとの共生についての説明文を読んで、要点や詳細を理解することができる。	AI技術やロボット技術の利点や問題点について考え、自分の立場を他の人に伝えることができる。	自分が一緒に生活したい、またはしたくないロボットについて、クラスメートと意見交換をすることができる。	
L10 What If There Were No Moon?	月について科学的見地から説明した講座を読んで、要点や詳細を理解することができる。	地球に対する月の影響について、情報を整理して、スピーチを行いことができる。	月に対するイメージが、どう変わったかを述べるイラストを書くことができる。	
備考	副教材の「Jr. Effective 三訂版」は、随時取り扱う。			

令和8年度 岡山県立倉敷天城高等学校 理数科2年 シラバス

教科名	科目名(校内名称)	単位数	教科
外国語	英語コミュニケーションⅡ (L英コミュ)	2	教科書: Listening English Communication Ⅱ [桐原書店]

学習のねらい	<p>外国語によるコミュニケーションにおける見方・考え方を働かせ、以下の5つの領域において言語活動及びこれら結び付けた統合的な言語活動を通して、情報や考えなどを的確に理解したり、適切に表現したり伝え合ったりするコミュニケーションを図る資質・能力を養う。</p> <p>① 外国語の4技能について、実際のコミュニケーションにおいて活用できる知識・技能を身に付ける。外国語の学習を通して、言語の働きや役割などを理解できるようにする。(知識・技能)</p> <p>② 場所・目的・状況などに応じて、日常的・社会的な話題について、情報や考えなどを外国語で的確に理解したり適切に伝え合ったりできるようにする。(思考力・判断力・表現力)</p> <p>③ 外国語の背景にある文化に対して理解を深め、聞き手・読み手・話し手・書き手に配慮しながら、外国語で聞いたり、読んだりしたことを活用して自分の意見や考えなどを話したり書いたりしようとしている。(主体性)</p>
--------	---

授業形態 アドバイス など	<p>本コースの授業です。2年次の英語コミュニケーションⅡの授業は、1年次で学習した内容を発展させたものになります。1年次に身につけたことを土台にして、少し長めの文を論理的に読むことを大切にしましょう。復習も必ず必要です。また、提出物は期限を守って下さい。そのためには、計画的な取り組みが必要です。</p>
---------------------	---

評価の観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
評価の基本的な考え方	<p>外国語の4技能について、実際のコミュニケーションにおいて活用できる知識・技能を身に付けている。外国語の学習を通して、言語の働きや役割などを理解している。</p>	<p>場所・目的・状況などに応じて、日常的・社会的な話題について、情報や考えなどを外国語で的確に理解したり適切に伝え合ったりしている。</p>	<p>外国語の背景にある文化に対して理解を深め、聞き手・読み手・話し手・書き手に配慮しながら、外国語で聞いたり、読んだりしたことを活用して自分の意見や考えなどを話したり書いたりしようとしている。</p>
育Tたい生は誰(資質・能力)との関連	<p>教養力: 幅広い教養と課題発見・解決のための知識・技能</p>	<p>思考力: 論理的に考え、批判的に掘り下げ、創設する力 表現力: 思考・判断の結果や経過をわかりやすく伝える力</p>	<p>協働力: 多様な他者とコミュニケーションをとり協力する力 省察力: 自らの行動を振り返り改善し前に踏み出す力</p>
主な評価方法	<p>○定期考査 ○小テスト ○授業・発表内容の観察 ○授業ノート・提出課題の点検 ○ワークシート・アチーブメントチェック</p>	<p>○定期考査 ○小テスト ○授業・発表内容の観察 ○授業ノート・提出課題の点検 ○ワークシート・アチーブメントチェック</p>	<p>○授業・発表態度の観察 ○プレゼンテーションの観察 ○提出課題の点検 ○アチーブメントチェック(学習の振り返り)</p>

学期	学習内容	学習の到達目標		
		知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
L3 The World's Most Bicycle-friendly City	自転車利用についてのクイズを聞いて、概要や詳細を抜き取る。本文を読んで、概要や詳細を理解し、情報を意見と事実に分類する。	海外の自転車政策についての記事を読み、その内容についてリテリングを行う。自転車を利用しやすくなる方法について話し合う。	自分の町で自転車を利用しやすくなるための解決策を提案する。	
L4 Can You Feel Emotions in Text?	顔文字に関する論議文を読んで、情報を収集してまとめることができる。	日本で使用される顔文字と他国で使用される顔文字の違いを説明することができる。	顔文字を使用した際に生じる誤解に悩む友人に、助言を与えることができる。	
L5 Background Music and Sharks	BGM がサメの印象に与える影響についての報告文を読んで、要点や詳細を理解することができる。	サメの映像を使った実験の目的・結果・考察を整理し、他の人に説明することができる。	特定の場面で、どんなBGMを使うのが効果的かを理由とともに考えることができる。	
L6 The Benefits of Play	遊びの利点に関する実験の報告文を読んで、要点や詳細な情報を理解・整理することができる。	実験結果から導き出される結論を整理して、ナレーション原稿を作成することができる。	ゲームの長所または短所について、相手の意見を認めたりして、自分の意見を述べることができる。	
L7 Nursing in a War Zone	国境なき医師団の看護家態や白川さんの意見を読んで、その情報を整理することができる。	整理した情報をもとに、国境なき医師団に興味がある友人に、白川さんの仕事について話すことができる。	国際協力ボランティア活動への参加申込書に、必要事項を適切に記入することができる。	
L8 Hawaii's Debate about a Sacred Mountain	ハワイの最新天文台設置に関する議論を読み、賛成派と反対派それぞれの論点を正確に理解することができる。	賛成派と反対派の考えを比較・対照し、それらの要点をまとめて発表することができる。	「科学の進歩は伝統を守る」とより重要」という命題について、自分の立場と理由を述べるすることができる。	
L9 The Next Wave in Artificial Language	ロボットとの共生についての説明文を読んで、要点や詳細を理解することができる。	AI技術やロボット技術の利点や問題点について考え、自分の立場を他の人に伝えることができる。	自分が一緒に生活したい、またはしたくないロボットについて、クラスメートと意見交換をすることができる。	
L10 What If There Were No Moon?	月について科学的見地から説明した講義を読んで、要点や詳細を理解することができる。	地球に対する月の影響について、情報を整理して、スピーチを行うことができる。	月に対するイメージが、どう変わったかを述べるパラグラフを書くことができる。	
備考				

令和8年度 岡山県立倉敷天城高等学校 普通科2年 シラバス

教科名	科目名(校内名称)	単位数	教材
外国語	英語コミュニケーションⅡ (英コミュ)	3	教科書 Hearing English Communication Ⅱ [福井書院] 副教材 Sr. Effective 2 訂版 [エス出版]

学習のねらい	<p>外国語によるコミュニケーションにおける見方・考え方を働かせ、以下の5つの領域において言語活動及びこれら結びつけた総合的な言語活動を通して、情報や考えなどを的確に理解したり、適切に表現したり伝え合ったりするコミュニケーションを回る資質・能力を養う。</p> <p>① 外国語の4技能について、実際のコミュニケーションにおいて活用できる知識・技能を身に付ける。外国語の学習を通して、言語の働きや役割などを理解できるようにする。(知識・技能)</p> <p>② 場所・目的・状況などに応じて、日常的・社会的な話題について、情報や考えなどを外国語で的確に理解したり適切に伝え合ったりできるようにする。(思考力・判断力・表現力)</p> <p>③ 外国語の背景にある文化に対して理解を深め、聞き手・読み手・話し手・書き手に配慮しながら、外国語で聞いたり、読んだりしたことを活用して自分の意見や考えなどを話したり書いたりしようとしている。(主体性)</p>
--------	---

授業形態 アドバイス など	R コースの授業です。2年次の英語コミュニケーションⅡの授業は、1年次で学習した内容を発展させたものになります。1年次に身につけたことを土台にして、少し長めの文を論理的に読むことを大切にしましょう。復習も必ず必要です。また、提出物は期限を守ってください。そのためには、計画的な取り組みが必要です。
---------------------	--

評価の観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
評価の基本的な考え方	外国語の4技能について、実際のコミュニケーションにおいて活用できる知識・技能を身に付けている。外国語の学習を通して、言語の働きや役割などを理解している。	場所・目的・状況などに応じて、日常的・社会的な話題について、情報や考えなどを外国語で的確に理解したり適切に伝え合ったりしている。	外国語の背景にある文化に対して理解を深め、聞き手・読み手・話し手・書き手に配慮しながら、外国語で聞いたり、読んだりしたことを活用して自分の意見や考えなどを話したり書いたりしようとしている。
育てたい生徒 (資質・能力) との関連	教養力・幅広い教養と課題発見・解決のための知識・技能	思考力:論理的に考え、批判的に掘り下げ、創造する力 表現力:思考・判断の結果や経過をわかりやすく伝える力	協働力:多様な他者とコミュニケーションをとり協力する力 省察力:自らの行動を振り返り改善し前に踏み出す力
主な 評価方法	○定期考査 ○小テスト ○授業・発表内容の観察 ○授業ノート・提出課題の点検 ○ワークシート・アチーブメントチェック	○定期考査 ○小テスト ○授業・発表内容の観察 ○授業ノート・提出課題の点検 ○ワークシート・アチーブメントチェック	○授業・発表態度の観察 ○プレゼンテーションの観察 ○提出課題の点検 ○アチーブメントチェック(学習の振り返り)

学期	学習内容	学習の到達目標		
		知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
L3 The World's Most Bicycle-friendly City	自転車利用についてのクイズを聞いて、概要や詳細を聞き取る。本文を読んで、概要や詳細を理解し、情報を意見と事実に分類する。	海外の自転車政策についての記事を読み、その内容についてリテラリングを行う。自転車を利用しやすくする方法について話し合う。	自分の町で自転車を利用しやすくするための解決策を発表する。	
L4 Can You Feel Emotions in Text?	顔文字に関する論証文を読んで、情報を収集してまとめることができる。	日本で使用される顔文字と他国で使用される顔文字の違いを説明することができる。	顔文字を使用した際に生じる誤解に悩む友人に、助言を与えることができる。	
L5 Background Music and Sharks	BGM がサメの印象に与える影響についての報告文を読んで、要点や詳細を理解することができる。	サメの映像を使った実験のも目的・結果・考察を整理し、他の人に説明することができる。	特定の場面で、どんなBGMを使うのが効果的かを理由とともに考えることができる。	
L6 The Benefits of Play	遊びの利点に関する実験の報告文を読んで、要点や詳細な情報を理解・整理することができる。	実験結果から導き出される結論を整理して、ナレーション原稿を作成することができる。	ゲームの長所または短所について、相手の意見を認めつつも、自分の意見を述べることができる。	
L7 Nursing in a War Zone	国境なき医師団の最新実態や白川さんの意見を読んで、その情報を整理することができる。	整理した情報をもとに、国境なき医師団に興味がある友人に、白川さんの仕事について話すことができる。	国際協力ボランティア活動への参加申込書に、必要事項を適切に記入することができる。	
L8 Hawaii's Debate about a Sacred Mountain	ハワイの最新天文台設置に関する議論を読み、賛成派と反対派それぞれの論点を正確に理解することができる。	賛成派と反対派の考えを比較・評価し、それらの考えをまとめて発表することができる。	「科学の進歩に伝統を守ることより重要」という命題について、自分の立場と理由を述べることができる。	
L9 The Next Wave in Artificial Language	ロボットとの共生についての説明文を読んで、要点や詳細を理解することができる。	AI技術やロボット技術の利点や問題点について考え、自分の立場を他の人に伝えることができる。	自分が一緒に生活したい、またはしたくないロボットについて、クラスメートと意見交換をすることができる。	
L10 What If There Were No Moon?	月について科学的見地から説明した挿話を読んで、要点や詳細を理解することができる。	地球に対する月の影響について、情報を整理して、スピーチを行いことができる。	月に對するイメージが、どう変わったかを述べるパラグラフを書くことができる。	
備考	副教材の「5. Effective 三訂版」は、随時取り扱う。			

令和8年度 岡山県立倉敷天城高等学校 理数科2年 シラバス

教科名	科目名(校内名称)	単位数	教 付
外国語	英語コミュニケーションⅡ (R英コミュ)	2	教科書:Heartening English Communication Ⅱ(桐原書店)

学習の ねらい	<p>外国語によるコミュニケーションにおける見方・考え方を働かせ、以下のうちの領域において言語活動及びこれらを結び付けた統合的な言語活動を通して、情報や考えなどを的確に理解したり、適切に表現したり伝え合ったりするコミュニケーションを図る資質・能力を養う。</p> <p>(1) 外国語の4技能について、実際のコミュニケーションにおいて活用できる知識・技能を身に付ける。外国語の学習を通して、言語の働きや役割などを理解できるようにする。(知識・技能)</p> <p>(2) 場所・目的・状況などに応じて、日常的・社会的な話題について、情報や考えなどを外国語で的確に理解したり適切に伝え合ったりできるようにする。(思考力・判断力・表現力)</p> <p>(3) 外国語の背景にある文化に対して理解を深め、聞き手・読み手・話し手・書き手に配慮しながら、外国語で聞いたり、読んだりしたことを活用して自分の意見や考えなどを話したり書いたりしようとしている。(主体性)</p>
------------	--

授業形態 アドバイス など	R コースの授業です。2年次の英語コミュニケーションⅡの授業は、1年次で学習した内容を発展させたものになります。1年次に身につけたことを土台にして、少し長めの文を論理的に読み解くことを大切にしましょう。復習も必ず必要です。また、提出物は遅延を許して下さい。そのためには、計画的な取り組みが必要です。
---------------------	---

評価の観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
評価の 基本的な 考え方	外国語の4技能について、実際のコミュニケーションにおいて活用できる知識・技能を身に付けている。外国語の学習を通して、言語の働きや役割などを理解している。	場所・目的・状況などに応じて、日常的・社会的な話題について、情報や考えなどを外国語で的確に理解したり適切に伝え合ったりしている。	外国語の背景にある文化に対して理解を深め、聞き手・読み手・話し手・書き手に配慮しながら、外国語で聞いたり、読んだりしたことを活用して自分の意見や考えなどを話したり書いたりしようとしている。
育てたい生徒 (資質・能力) との関連	教養力:幅広い教養と課題発見・解決のための知識・技能	思考力:論理的に考え、批判的に鑑み下げ、創造する力 表現力:思考・判断の結果や経過をわかりやすく伝える力	協働力:多様な他者とコミュニケーションとり協力する力 省察力:自らの行動を振り返り改善し前に踏み出す力
主な 評価方法	○定期考査 ○小テスト ○授業・発表内容の観察 ○授業ノート・提出課題の点検 ○ワークシート・アチーブメントチェック	○定期考査 ○小テスト ○授業・発表内容の観察 ○授業ノート・提出課題の点検 ○ワークシート・アチーブメントチェック	○授業・発表態度の観察 ○プレゼンテーションの観察 ○提出課題の点検 ○アチーブメントチェック(学習の振り返り)

学期	学習内容	学習の到達目標		
		知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
L3 The World's Most Bicycle-friendly City	自転車利用についてのクイズを聞いて、概要や詳細を聞き取る。本文を読んで、概要や詳細を理解し、情報を意見と事実に分類する。	自転車利用についてのクイズを聞いて、概要や詳細を聞き取る。本文を読んで、概要や詳細を理解し、情報を意見と事実に分類する。	海外の自転車政策についての記事を読み、その内容についてリテリングを行う。自転車を利用しやすくする方法について話し合う。	自分の町で自転車を利用しやすくするための解決策を発表する。
L4 Can You Feel Emotions in Text?	顔文字に関する論証文を読んで、情報を収集してまとめることができる。	顔文字に関する論証文を読んで、情報を収集してまとめることができる。	日本で使用される顔文字と他国で使用される顔文字の違いを説明することができる。	顔文字を使用した際に生じる誤解に悩む友人に、助言を与えることができる。
L5 Background Music and Sharks	BGM がサメの印象に与える影響についての報告文を読んで、要点や詳細を理解することができる。	BGM がサメの印象に与える影響についての報告文を読んで、要点や詳細を理解することができる。	サメの映像を使った実験のも目的・結果・考察を整理し、他の人に説明することができる。	特定の場面で、どんなBGMを使うのが効果的かを理由とともに考えることができる。
L6 The Benefits of Play	遊びの利点に関する実験の報告文を読んで、要点や詳細な情報を理解・整理することができる。	遊びの利点に関する実験の報告文を読んで、要点や詳細な情報を理解・整理することができる。	実験結果から導き出される結論を整理して、ナレーション原稿を作成することができる。	ゲームの長所または短所について、相手の意見を認めためて、自分の意見を述べることができる。
L7 Nursing in a War Zone	国境なき医師団の看護実態や白川さんの意見を読んで、その情報を整理することができる。	国境なき医師団の看護実態や白川さんの意見を読んで、その情報を整理することができる。	整理した情報をもとに、国境なき医師団に興味がある友人に、白川さんの仕事について話すことができる。	国際協力ボランティア活動への参加申込書に、必要事項を適切に記入することができる。
L8 Hawaii's Debate about a Sacred Mountain	ハワイの最新天文台設置に関する議論を読み、賛成派と反対派それぞれの論点を正確に理解することができる。	ハワイの最新天文台設置に関する議論を読み、賛成派と反対派それぞれの論点を正確に理解することができる。	賛成派と反対派の考えを比較・評価し、それらの要点をまとめて発表することができる。	「科学の進歩は伝統を守ることより重要」という命題について、自分の立場と理由を述べることができる。
L9 The Next Wave in Artificial Language	ロボットとの共生についての説明文を読んで、要点や詳細を理解することができる。	ロボットとの共生についての説明文を読んで、要点や詳細を理解することができる。	AI技術やロボット技術の利点や問題点について考え、自分の立場を他の人に伝えることができる。	自分が一緒に生活したい、またはしたくないロボットについて、クラスメートと意見交換をすることができる。
L10 What If There Were No Moon?	月について科学的見地から説明した講義を読んで、要点や詳細を理解することができる。	月について科学的見地から説明した講義を読んで、要点や詳細を理解することができる。	地球に対する月の影響について、情報を整理して、スピーチを行うことができる。	月に対するイメージが、どう変わったかを述べるパラグラフを書くことができる。
備考				

令和8年度 岡山県立倉敷天城高等学校 普通科・理数科2年 シラバス

教科名	科目名(校内名称)	単位数	教材
外国語	英語コミュニケーションⅢ (L英コミュ)	1	教科書:Heavening English Communication Ⅲ[創研書店]

学習のねらい	<p>外国語によるコミュニケーションにおける見方・考え方を働かせ、以下の5つの領域において言語活動及びこれら結び付けた統合的な言語活動を通して、情報や考えなどを的確に理解したり、適切に表現したり伝え合ったりするコミュニケーションを図る資質・能力を養う。</p> <p>① 外国語の4技能について、実際のコミュニケーションにおいて活用できる知識・技能を身に付ける。外国語の学習を通して、言語の働きや役割などを理解できるようにする。(知識・技能)</p> <p>② 場所・目的・状況などに応じて、日常的・社会的な話題について、情報や考えなどを外国語で的確に理解したり適切に伝え合ったりできるようにする。(思考力・判断力・表現力)</p> <p>③ 外国語の背景にある文化に対して理解を深め、聞き手・読み手・話し手・書き手に配慮しながら、外国語で聞いたり、読んだりしたことを活用して自分の意見や考えなどを話したり書いたりしようとしている。(主体性)</p>
--------	---

授業形態 アドバイス など	<p>Rコースの授業です、2年次の英語コミュニケーションⅢの改善は、2年次前期で学習した内容をさらに発展させたもので、3年次に学習する内容を先取りします。2年次前期で学習した内容で理解できていないところがあると英語コミュニケーションⅢではわからないところが増えてしまいます。復習も必ず必要です。音読をしっかりとしましょう。また、提出物は期限を守って下さい。そのためには、計画的な取り組みが必要です。</p>
---------------------	---

評価の観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
評価の基本的な考え	外国語の4技能について、実際のコミュニケーションにおいて活用できる知識・技能を身に付けている。外国語の学習を通して、言語の働きや役割などを理解している。	場所・目的・状況などに応じて、日常的・社会的な話題について、情報や考えなどを外国語で的確に理解したり、適切に伝え合ったりしている。	外国語の背景にある文化に対して理解を深め、聞き手・読み手・話し手・書き手に配慮しながら、外国語で聞いたり、読んだりしたことを活用して自分の意見や考えなどを聞いたり、読んだり、話したり書いたりしようとしている。
育てたい生徒 (資質・能力) との関連	教養力:幅広い教養と課題発見・解決のための知識・技能	思考力:論理的に考え、批判的に振り返り、創造する力 表現力:思考・判断の結果や経過をわかりやすく伝える力	協働力:多様な他者とコミュニケーションをとり協力する力 省察力:自らの行動を振り返り、改善し前に踏み出す力
主な 評価方法	○定期考査 ○課題考査 ○小テスト ○授業・発表内容の観察 ○授業ノート・提出課題の点検	○定期考査 ○課題考査 ○小テスト ○授業・発表内容の観察 ○授業ノート・提出課題の点検	○授業・発表態度の観察 ○プレゼンテーションの観察 ○提出課題の点検

学期	学習内容	学習の到達目標		
		知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
後期	L1 What Makes Up Your Identity?	アイデンティティを形成する要素について聞いたし、女優のサヘル・ローズさんが、自らのアイデンティティと向き合った経験について読んだりして、概要を把握することができる。	議論を効果的に使って、自分たちの理解をペア・グループで共有することができる。	自分のアイデンティティについて話し合い、共有することができる。
	L2 Predicting Future Technology	発明家のニコラ・テスラが100年前に予測した科学技術について読んで、要点や詳細を理解することができる。	自分たちの理解を互いに補充しながら、情報を整理し、グループ・ペアで共有することができる。	未来の科学技術で最も重要なものについて、自分の意見を詳しく話して伝えることができる。
	L3 The Science of Sleep	睡眠の重要性についてのインタビューを聞いたり、睡眠と記憶の関係性についての論文を読んで、要点や詳細を理解することができる。	睡眠不足が心身に及ぼす影響について、情報や考えを伝え合うことができる。	睡眠不足によって起きる問題とその解決策について、自分の経験や調べたことをお互いに共有することができる。
	L4 Diversity and Inclusion	町や企業での多様性促進のニュースを聞いたり、文化的多様性についての意見文を読んだりして、要点や詳細を理解することができる。	多様性を促進する方法について、情報や考えを伝え合うことができる。	多様性を促進するために最も重要な要素について、自分の意見を論理的に述べることができる。
備考	適宜 Jr.Effective を導入する。			

令和8年度 岡山県立倉敷天城高等学校 普通科・理数科2年 シラバス

教科名	科目名 (校内名称)	単位数	教 材
外国語	英語コミュニケーションⅢ (Ⅲ英コミュ)	1	教科書:Heartening English Communication Ⅲ(情報書房)

学習のねらい	<p>外国語によるコミュニケーションにおける見方・考え方を働かせ、以下の5つの領域において言語活動及びこれら結び付けた統合的な言語活動を通して、情報や考えなどを的確に理解したり、適切に表現したり伝え合ったりするコミュニケーションを円滑に営む資質・能力を養う。</p> <p>① 外国語の4技能について、実際のコミュニケーションにおいて活用できる知識・技能を身に付ける。外国語の学習を通して、言語の働きや役割などを理解できるようにする。(知識・技能)</p> <p>② 場所・目的・状況などに応じて、日常的・社会的な話題について、情報や考えなどを外国語で的確に理解したり適切に伝え合ったりできるようにする。(思考力・判断力・表現力)</p> <p>③ 外国語の背景にある文化に対して理解を深め、聞き手・読み手・話し手・書き手に配慮しながら、外国語で聞いたり、読んだりしたことを活用して自分の意見や考えなどを話したり書いたりしようとしている。(主体性)</p>
--------	--

授業形態 アドバイス など	<p>R コースの授業です。2年次の英語コミュニケーションⅢの授業は、2年次前期で学習した内容をさらに発展させたもので、3年次に学習する内容を先取りします。2年次前期で学習した内容で理解できていないところがあると英語コミュニケーションⅢではわからないところが増えてしまいます。復習も必ず必要です。音読をしっかりと行いましょう。また、提出物は期限を守ってください。そのためには、献身的な取り組みが必要です。</p>
---------------------	--

評価の観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
評価の基本的な考え方	<p>外国語の4技能について、実際のコミュニケーションにおいて活用できる知識・技能を身に付けている。外国語の学習を通して、言語の働きや役割などを理解している。</p>	<p>場所・目的・状況などに応じて、日常的・社会的な話題について、情報や考えなどを外国語で的確に理解したり、適切に伝え合ったりしている。</p>	<p>外国語の背景にある文化に対して理解を深め、聞き手・読み手・話し手・書き手に配慮しながら、外国語で聞いたり、読んだりしたことを活用して自分の意見や考えなどを聞いたり、読んだり、話したり書いたりしようとしている。</p>
用いた生徒 (資質・能力) との関連	<p>教養力:幅広い教養と課題発見・解決のための知識・技能</p>	<p>思考力:論理的に考え、批判的に振り返り、創造する力 表現力:思考・判断の結果や経過をわかりやすく伝える力</p>	<p>協働力:多様な他者とコミュニケーションをとり協力する力 省察力:自らの行動を振り返り改善し前に踏み出す力</p>
主な評価方法	<p>○定期考査 ○課題考査 ○小テスト ○授業・発表内容の観察 ○授業ノート・提出課題の点検</p>	<p>○定期考査 ○課題考査 ○小テスト ○授業・発表内容の観察 ○授業ノート・提出課題の点検</p>	<p>○授業・発表態度の観察 ○プレゼンテーションの観察 ○提出課題の点検</p>

学期	学習内容	学習の到達目標		
		知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
後期	L1 What Makes Up Your Identity?	アイデンティティを形成する要素について聞いたり、女優のサヘル・ローズさんが、自らのアイデンティティと向き合った経験について読んだりして、概要を把握することができる。	教員を効果的に使って、自分たちの理解をペア・グループで共有することができる。	自分のアイデンティティについて話し合い、共有することができる。
	L2 Predicting Future Technology	発明家のニコラ・テスラが100年前に予測した科学技術について読んで、要点や詳細を理解することができる。	自分たちの理解を互いに補充し合いながら、情報を整理し、グループ・ペアで共有することができる。	未来の科学技術で最も重要なものについて、自分の意見を詳しく話して伝えることができる。
	L3 The Science of Sleep	睡眠の重要性についてのインタビューを聞いたり、睡眠と記憶の関係性についての論拠文を読んで、要点や詳細を理解することができる。	睡眠不足が心身に及ぼす影響について、情報や考えを伝え合うことができる。	睡眠不足によって起きる問題とその解決策について、自分の経験や調べたことをお互いに共有することができる。
	L4 Diversity and Inclusion	町や企業での多様性促進のニュースを聞いたり、文化的多様性についての意見文を読んだりして、要点や詳細を理解することができる。	多様性を促進する方法について、情報や考えを伝え合うことができる。	多様性を促進するために最も重要な要素について、自分の意見を論理的に述べることができる。
備考	適宜 Sr.Effective を導入する。			

令和8年度 岡山県立倉敷天城高等学校 普通科・理数科2年 シラバス

教科名	科目名 (校内名称)	単位数	教材
英語	論理・表現Ⅰ (L論表)	2	教科書: Vision Quest English Logic and Expression II Hope [啓林館] 副教材: 教科書準拠ワークブック [啓林館]

学習のねらい	<p>論理・表現Ⅰ」の学習内容を踏まえ、「話すこと（やり取り）」「話すこと（発表）」「書くこと」を中心とした統合的な言語活動を通して、発話能力を強化するための発展的な活動に行くとともに、論理の構成や展開を工夫して詳しく伝えたり、伝え合ったりすることができる能力を養う。</p> <p>具体的な活動と領域は以下の通り。</p> <p>(1) 話すこと〔やり取り〕</p> <p>日常的な話題について、使用する語句や文、対話の展開などにおいて、一定の支援を活用すれば、聞いたり読んだりしたことを活用しながら、多様な語句や文を用いて、意見や主張、課題の解決策などを論理の構成や展開を工夫して詳しく話して伝えあうことができるようにする。</p> <p>(2) 話すこと〔発表〕</p> <p>日常的・社会的な話題について、使用する語句や文、事前の準備などにおいて、一定の支援を活用すれば、聞いたり読んだりしたことを活用しながら、多様な語句や文を用いて、意見や主張などを論理の構成や展開を工夫して詳しく話して伝えることができるようにする。</p> <p>(3) 書くこと</p> <p>日常的・社会的な話題について、使用する語句や文、事前の準備などにおいて、一定の支援を活用すれば、聞いたり読んだりしたことを活用しながら、多様な語句や文を用いて、意見や主張などを論理の構成や展開を工夫して複数の段落から成る文章で詳しく書いて伝えることができるようにする。</p>
--------	--

授業形態 アドバイス など	<p>2年生では、1年次に学んだ基礎を有効に使いながら、自分の言葉で表現することを目指しています。学校で学習した内容はその日のうちにワークブックを用いて復習し、授業で「分かった」ことを定着させましょう。わからない箇所は参考書を読みながら確認しましょう。</p>
---------------------	--

評価の観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
評価の基本的な考え方	<p>[知識]</p> <p>英語の特徴やさまりに関する事項及びその働きや役割を理解している。</p> <p>[技能]</p> <p>目的や場面、状況に応じて、自分の意見や主張などを論理の構成や展開を工夫して、詳しく話したり書いたりして伝え合うことができる技能を身に付けている。</p>	<p>目的や場面、状況に応じて、自分の意見や主張などを論理の構成や展開を工夫して、詳しく話したり書いたりして伝え合っている。</p>	<p>外国語の背景にある文化に対する理解を求め、聞き手・読み手など他者に配慮しながら、主体的・自発的に表現しようとしている。</p>
育てたい生徒像 (資質・能力) との関連	<p>資力力: 幅広い教養と課題発見・解決のための知識・技能</p>	<p>思考力: 論理的に考え、批判的に振り返り、創造する力</p> <p>表現力: 思考・判断の結果や経過をわかりやすく伝える力</p>	<p>意欲力: 多様な他者とコミュニケーションをとり協力する力</p> <p>省察力: 自らの行動を振り返り改善し前に踏み出す力</p>
主な評価方法	<p>○定期考査</p> <p>○小テスト</p> <p>○授業・発表内容の観察</p> <p>○提出課題の点検</p>	<p>○定期考査</p> <p>○ハテテスト</p> <p>○授業・発表内容の観察</p> <p>○提出課題の点検</p>	<p>○授業・発表態度の観察</p> <p>○ペアワーク・プレゼンテーションの観察</p> <p>○提出課題の点検</p>

学期	学習内容	学習の到達目標		
		知識・技能	思考・判断・表現	主体性に学習に取り組み態度
通 期	L1 適切な主語を用いる (主語の選択・名詞句・形式主語)	主語の選択や主語になる名詞句、形式主語の概念を学び、適切な主語の使い方を理解できる。	自分の目標と達成のために必要なことについて、文と文のつながりを意識して伝えることができる。	将来の目標について、自分の考えをパートナーと共有することができる。
	L2 適切な動詞を用いる (自動詞と他動詞・群動詞)	自動詞と他動詞を使い分けたり、群動詞を適切に用いたりして文を組み立てることができる。	自分の高校の行事について紹介する文章を、事項を列挙しながらパラグラフの構成を意識して伝えることができる。	学校生活について、自分の考えをパートナーと共有することができる。
	L3 時を表す (現在・過去・未来)	現在・過去・未来を表すために、適切な動詞の形や文の構造について理解することができる。	自分の好きなアスリートと実績について例を挙げながらパラグラフの構成を意識して伝えることができる。	スポーツについて、自分の考えをパートナーと共有することができる。
	L4 義務・必要・推量を表す (助動詞)	義務・必要・推量を表すために、助動詞を用いた適切な文の形や構造を理解し、文を組み立てることができる。	ソーシャルメディアの利点と欠点の比較について、比較・対照の表現を意識して伝えることができる。	ソーシャルメディアについて、自分の考えをパートナーと共有することができる。
	L5 情報を加える(1) (形容詞・分詞・不定詞)	形容詞・分詞・前置詞句や不定詞による名詞の修飾を用いた適切な文の形や構造を理解し、文を組み立てることができる。	ユスルギーの過剰使用によって引き起こされる問題について、原因・理由・結果を意識して伝えることができる。	環境問題や電力消費について、自分の考えをパートナーと共有することができる。
	L6 情報を加える(2) (関係代名詞・関係副詞)	関係代名詞や関係副詞を用いた文の構造を理解し、文を組み立てることができる。	訪れたい国とその国の文化について、主張や理由の根拠となる情報を示しながら、詳しく伝えることができる。	異文化理解について、自分の考えをパートナーと共有することができる。
	L7 情報を加える(3) (不定詞副詞的用法・分詞)	不定詞の副詞的用法や分詞を使った副詞的などの修飾を用いた適切な文の形や構造を理解し、文を組み立てることができる。	日本の第二公用語としての英語の導入の賛否に関する記事を読んで、文章全体の概要や要点をまとめることができる。	外国語の学習について、自分の考えをパートナーと共有することができる。
	L8 情報を伝える (直接話法・間接話法)	直接話法、間接話法、また様々な伝達表現を用いて適切な文の形や構造を組み立てることができる。	日本の教育制度に関するプレゼンテーションを聞き、文章全体の概要や要点をまとめ、ペアやグループで議論することができる。	日本の社会や職場環境について、自分の考えをパートナーと共有することができる。
	L9 仮定を表す (条件・仮定)	条件や仮定を用いた適切な文の形や構造を理解し、文を組み立てることができる。	宝くじが当たったという仮定の状況を想定して自分の考えをまとめ、スピーチの原稿を作成し発表することができる。	仮定した状況や願望について、自分の考えをパートナーと共有することができる。
	L10 数量を表す (可算名詞・不可算名詞、割合・数量の変化)	可算名詞と不可算名詞の使い分けや数量を表す表現、割合・数量の変化を表す表現や文の構造を理解し、文を組み立てることができる。	A1と共に働くときに重要なことについて、自分の考えや経験をもとにプレゼンテーションを作成し、資料やデータなどを提示しながら発表することができる。	科学技術の影響について、自分の考えをパートナーと共有することができる。

学期	学習内容	学習の到達目標		
		知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
	<p>L11 比較を表す (原級比較・比較級・最上級)</p> <p>L12 否定を表す (部分否定・準否定)</p>	<p>原級比較、比較級、最上級を表す表現や文の構造を理解し、文を組み立てることができる。</p> <p>否定を含む語や部分否定、準否定などの否定を表す表現や文の構造を理解し、文を組み立てることができる。</p>	<p>「7時間以上の睡眠を取るべきか」という課題について賛否の意見を考え、伝えることができる。</p> <p>チョコレート販売するうえで重要なことについて自分の主張を考え、根拠となる資料を示しながらグループで話して伝えあうことができる。</p>	<p>健康的なライフスタイルについて、自分の考えをパートナーと共有することができる。</p> <p>商品の購入やビジネスについて、自分の考えをパートナーと共有することができる。</p>
備考				

令和8年度 岡山県立倉敷天城高等学校 普通科・理数科2年 シラバス

教科名	科目名(校内名称)	単位数	教材
英語	論理・表現I (2 論表)	2	教科書: Vision Quest English Logic and Expression I Hope [啓林館] 副教材: 教科書準備ワークブック[啓林館]、est 英作文 [I社出版]

学習の ねらい	<p>「論理・表現I」の学習内容を踏まえ、「話すこと(やり取り)」「話すこと(発表)」「書くこと」を中心とした統合的な言語活動を通して、発信能力を強化するための発展的な活動を行うとともに、論理の構成や展開を工夫して詳しく伝えたり、伝え合ったりすることができる能力を養う。</p> <p>具体的な活動と領域は以下の通り。</p> <p>(1) 話すこと(やり取り)</p> <p>日常的な話題について、使用する語句や文、対話の展開などにおいて、一定の支援を活用すれば、聞いたり読んだりしたことを活用しながら、多様な語句や文を用いて、意見や主張、課題の解決策などを論理の構成や展開を工夫して詳しく話して伝えあうことができるようにする。</p> <p>(2) 話すこと(発表)</p> <p>日常的・社会的な話題について、使用する語句や文、事前の準備などにおいて、一定の支援を活用すれば、聞いたり読んだりしたことを活用しながら、多様な語句や文を用いて、意見や主張などを論理の構成や展開を工夫して詳しく話して伝えることができるようにする。</p> <p>(3) 書くこと</p> <p>日常的・社会的な話題について、使用する語句や文、事前の準備などにおいて、一定の支援を活用すれば、聞いたり読んだりしたことを活用しながら、多様な語句や文を用いて、意見や主張などを論理の構成や展開を工夫して複数の段落から成る文章で詳しく書いて伝えることができるようにする。</p>
------------	---

授業形態 アドバイス など	<p>2年生では、1年次に学んだ基礎を有効に使いながら、自分の言葉で表現することを目指しています。学校で学習した内容はその日のうちにワークブックを用いて復習し、授業で「分かった」ことを定着させましょう。わからない箇所は参考書を読みながら確認しましょう。</p>
---------------------	--

評価の観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
評価の基本的な考え方	<p>[知識]</p> <p>英語の特徴やさまりに関する事項及びその働きや役割を理解している。</p> <p>[技能]</p> <p>目的や場面、状況に応じて、自分の意見や主張などを論理の構成や展開を工夫して、詳しく話したり書いたりして伝え合うことができる能力を身に付けている。</p>	<p>目的や場面、状況に応じて、自分の意見や主張などを論理の構成や展開を工夫して、詳しく話したり書いたりして伝え合っている。</p>	<p>外国語の習得にある文化に対する理解を深め、聞き手・読み手など他者に配慮しながら、主体的・自律的に表現しようとしている。</p>
育てたい資質 (資質・能力) との関連	<p>教養力: 幅広い教養と課題発見・解決のための知識・技能</p>	<p>思考力: 論理的に考え、批判的に振り返り、創造する力</p> <p>表現力: 思考・判断の結果や経過をわかりやすく伝える力</p>	<p>国際力: 多様な他者と「コミ」ニケーションをとる協力の力</p> <p>省察力: 自らの行動を振り返り改善し前に踏み出す力</p>
主な 評価方法	<p>○定期考査</p> <p>○小テスト</p> <p>○授業・発表内容の観察</p> <p>○提出課題の点検</p>	<p>○定期考査</p> <p>○小テスト</p> <p>○授業・発表内容の観察</p> <p>○提出課題の点検</p>	<p>○授業・発表態度の観察</p> <p>○ペアワーク・プレゼンテーションの観察</p> <p>○提出課題の点検</p>

学期	学習内容	学習の到達目標		
		知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組み態度
通期	L1 適切な主語を用いる (主語の選択・名詞句・形式主語)	主語の選択や主語になる名詞句、形式主語の概念を学び、適切な主語の使い方を理解できる。	自分の目標と達成のために必要なことについて、文と文のつながりを意識して伝えることができる。	将来の目標について、論理の構成や展開を工夫して、自分の考えをより詳しくパートナーと共有することができる。
	L2 適切な動詞を用いる (自動詞と他動詞・辞動詞)	自動詞と他動詞を使い分けたり、群動詞を適切に用いたりして文を組み立てることができる。	自分の高校の行事について紹介する文章を、事項を列挙しながらパラグラフの構成を意識して伝えることができる。	学校生活について、論理の構成や展開を工夫して、自分の考えをパートナーと共有することができる。
	L3 時を表す (現在・過去・未来)	現在・過去・未来を表すために、適切な動詞の形や文の構造について理解することができる。	自分の好きなアスリートと実績について例を挙げながらパラグラフの構成を意識して伝えることができる。	スポーツについて、論理の構成や展開を工夫して、自分の考えをパートナーと共有することができる。
	L4 義務・必要・推量を表す (助動詞)	義務・必要・推量を表すために、助動詞を用いた適切な文の形や構造を理解し、文を組み立てることができる。	ソーシャルメディアの利点と欠点の比較について、比較・対照の表現を認識して伝えることができる。	ソーシャルメディアについて、論理の構成や展開を工夫して、自分の考えをパートナーと共有することができる。
	L5 情報を加える(1) (形容詞・分詞・不定詞)	形容詞・分詞・前置詞句や不定詞による名詞の修飾を用いた適切な文の形や構造を理解し、文を組み立てることができる。	エネルギーの過剰使用によって引き起こされる問題について、原因・理由・結果を意識して伝えることができる。	環境問題や電力消費について、論理の構成や展開を工夫して、自分の考えをパートナーと共有することができる。
	L6 情報を加える(2) (関係代名詞・関係副詞)	関係代名詞や関係副詞を用いた文の構造を理解し、文を組み立てることができる。	訪れたい国とその国の文化について、主語や理由の転換となる情報を示しながら、詳しく伝えることができる。	異文化理解について、論理の構成や展開を工夫して、自分の考えをパートナーと共有することができる。
	L7 情報を加える(3) (不定詞副詞的用法・分詞)	不定詞の副詞的用法や分詞を使った副詞的などの修飾を用いた適切な文の形や構造を理解し、文を組み立てることができる。	日本の第二公用語としての英語の導入の賛否に関する記事を読んで、文章全体の概要や要点をまとめることができる。	外国語の学習について、論理の構成や展開を工夫して、自分の考えをパートナーと共有することができる。
	L8 情報を伝える (直接話法・間接話法)	直接話法、間接話法、また様々な伝達表現を用いて適切な文の形や構造を組み立てることができる。	日本の教育制度に関するプレゼンテーションを聞き、文章全体の概要や要点をまとめ、ペアやグループで議論することができる。	日本の社会や職場環境について、論理の構成や展開を工夫して、自分の考えをパートナーと共有することができる。
	L9 仮定を表す (条件・仮定)	条件や仮定を用いた適切な文の形や構造を理解し、文を組み立てることができる。	宝くじが当たったという仮定の状況を想定して自分の考えをまとめ、スピーチの原稿を作成し発表することができる。	仮定した状況や願望について、論理の構成や展開を工夫して、自分の考えをパートナーと共有することができる。
	L10 数量を表す (可算名詞・不可算名詞、割合・数量の変化)	可算名詞と不可算名詞の使い分けや数量を表す表現、割合・数量の変化を表す表現や文の構造を理解し、文を組み立てることができる。	AIと共に働くときに重要なことについて、自分の考えや根拠をもとにプレゼンテーションを作成し、資料やデータなどを提示しながら発表することができる。	科学技術の影響について、論理の構成や展開を工夫して、自分の考えをパートナーと共有することができる。

学期	学習内容	学習の到達目標		
		知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
	L11 比較を表す (原級比較・比較級・最上級)	原級比較、比較級、最上級を表す表現や文の構造を理解し、文を組み立てることができる。	「7時間以上の睡眠を取るべきか」という議題について賛否の意見を考え、伝えることができる。	健康的なライフスタイルについて、論理の構成や展開を工夫して、自分の考えをパートナーと共有することができる。
	L12 否定を表す (部分否定・準否定)	否定を含む語や部分否定、準否定などの否定を表す表現や文の構造を理解し、文を組み立てることができる。	チョコレート販売するうえで重要なことについて自分の主張を考え、根拠となる資料を示しながらグループで話して伝えあうことができる。	商品の購入やビジネスについて、論理の構成や展開を工夫して、自分の考えをパートナーと共有することができる。
備考	副教材の「est 英作文」は、随時取り扱う。			

令和8年度 岡山県立倉敷天城高等学校 普通科2年 シラバス

教科名	科目名 (校内名称)	単位数	教科
英語	ABLEα	1	Jst Reading 英語読解テスト Level 2 (数研出版) Speaking Own Basic (数研出版)

学習のねらい	<p>外国語によるコミュニケーションにおける見方・考え方を働かせ、以下の3つの領域において言語活動及びこれらと結び付けた総合的な言語活動を通して、情報や考えなどを的確に理解したり、適切に表現したり伝え合ったりするコミュニケーションを図る資質・能力を養う。</p> <p>①外国語の4技能について、実際のコミュニケーションにおいて活用できる知識・技能を身に付ける。外国語の学習を通して、言語の働きや役割などを理解できるようにする。(知識・技能)</p> <p>②場所・目的・状況などに応じて、日常的・社会的な話題について、情報や考えなどを外国語で的確に理解したり適切に伝え合ったりできるようにする。(思考力・判断力・表現力)</p> <p>③外国語の背景にある文化に対して理解を深め、聞き手・読み手・話し手・書き手に配慮しながら、外国語で聞いたり、読んだりしたことを活用して自分の意見や考えなどを話したり書いたりしようとしている。(主体性)</p>
--------	---

授業形態 アド・バイス など	<p>普通科文系の選択科目です。予習を前提とせず、その場で辞書を使用せずに連続長文を初見読みし、実践的な読解力を育成します。また、長文の主題に関して、ペア・ワークで意見交換をすることによって、表現力と発信力を高めますので、積極的に自分の考えを英語で話すようにして下さい。同様に、長文の主題に関する、パラグラフ・ライティングにも挑戦します。4技能をバランス良く伸ばしていきたいでしょう。</p>
----------------------	--

評価の観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
評価の基本的な考え方	<p>外国語の4技能について、実際のコミュニケーションにおいて活用できる知識・技能を身に付けている、外国語の学習を通して、言語の働きや役割などを理解している。</p>	<p>場所・目的・状況などに応じて、日常的・社会的な話題について、情報や考えなどを外国語で的確に理解したり、適切に伝え合ったりしている。</p>	<p>外国語の背景にある文化に対して理解を深め、聞き手・読み手・話し手・書き手に配慮しながら、外国語で聞いたり、読んだりしたことを活用して自分の意見や考えなどを聞いたり、読んだり、話したり書いたりしようとしている。</p>
育みたい生徒 (資質・能力) との関連	<p>教養力：幅広い教養と課題発見・解決のための知識・技能</p>	<p>思考力：論理的に考え、批判的に陥り下げ、創造する力 表現力：思考・判断の結果や経過をわかりやすく伝える力</p>	<p>協働力：多様な他者とコミュニケーションをとり協力する力 省察力：自らの行動を振り返り改善し前に踏み出す力</p>
主な 評価方法	<p>○定期考査 ○課題考査 ○小テスト ○授業・発表内容の観察 ○授業ノート・提出課題の点検</p>	<p>○定期考査 ○課題考査 ○小テスト ○パフォーマンス・テスト ○授業・発表内容の観察 ○授業ノート・提出課題の点検</p>	<p>○授業・発表態度の観察 ○プレゼンテーションの観察 ○提出課題の点検</p>

学期	学習内容	学習の到達目標		
		知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
前期	Activity 1 Lesson1 (社会/説明文) Activity 2 Lesson2 (生活/文1作) Activity 3 Lesson3 (歴史/伝記) Activity 4 Lesson 4 (スポーツ/説明文) Activity 5 Lesson 5 (動物/説明文) Activity 6 Lesson 6 (生活/広告) Activity 7 Lesson 7 (教育/会話)	【聞くこと】 ・場面や状況に応じた表現を知っている。 ・「聞くこと」に用いられる語句や文法を知っている。 ・日常的な話題について、英語の学習で取り扱われた文化について理解している。 ・ジェスチャーなど非言語的なコミュニケーション手段の役割や使い方を理解している。 ・日常的な話題について、英語の学習で取り扱われた文化について理解している。	【聞くこと】 ・理解できないとき、確認したり、繰り返しや説明を求めたりしている。 ・日常的な話題についての英語を聞いて、情報や考えなど相手が伝えようとするのを正確に理解することができる。 ・リズムやイントネーションなど基本的な英語の音声の特徴をとらえ、正しく聞き取ることができる。 ・聞いた内容について正しく理解することができる。 【読むこと】 ・理解できないところがあっても、推測するなどして読み続けている。	【聞くこと】 ・「聞くこと」の言語活動に積極的、主体的に取り組んでいる。 ・相手を見て話を聞いたり、必要に応じてメモを取るなど、相手の話に関心を持っている。 ・聞いたことについてジェスチャーや簡単なことばで応答したりしている。 ・聞いた内容について意見や感想を述べようとしている。 ・さまざまな工夫をすることで、コミュニケーションを主体的に続けようとしている。 ・理解できないところがあっても、推測するなどして聞き続ける。

<p>後期</p> <p>Activity 8 Lesson 8 (科学/評論)</p> <p>Activity 9 Lesson 9 (生活/エッセイ)</p> <p>Activity 10 Lesson 10 (社会/ブログ)</p> <p>Activity 11 Lesson 11 (文化/説明文) Lesson 12 (環境/説明文)</p> <p>Activity 12 Lesson 13 (歴史/物語) Lesson 14 (仕事/メール)</p> <p>Activity 3 Lesson 15 (文化/評論) Lesson 16 (教育/レポート)</p> <p>Activity 14 Lesson 17 (医療/評論) Lesson 18 (社会/説明文) Lesson 19 (科学/説明文)</p> <p>Activity 15 Lesson 20 (歴史/説明文) Lesson 21 (社会/グラフ) Lesson 22 (文化/説明文)</p>	<p>とができる。</p> <ul style="list-style-type: none"> 文や文章を目的に応じた適切な速さで読み取ることができる。 言語や文法の運用についての基本的な知識を身に付けている。 場面や状況による強勢やイントネーションの違いを理解している。 文字や符号を識別する知識を身に付けている。 場面や状況に応じた表現を知っている。 文章の流れについての知識がある。 「読むこと」に用いられる語句や文法を知っている。 <p>日常的な話題について、英語の学習で取り扱われた文化について理解している。</p> <ul style="list-style-type: none"> 日常的な話題について、英語の学習で取り扱われた文化について理解している。 <p>【話すこと】</p> <ul style="list-style-type: none"> 言語や文法の運用についての基本的な知識を身に付けている。 場面や状況による強勢やイントネーションの違いを理解している。 場面や状況に応じた表現を知っている。 「話すこと」に用いられる語句や文法を知っている。 日常的な話題について、英語の学習で取り扱われた文化について理解している。 ジェスチャーなど非言語的コミュニケーション手段の役割や使い方を理解している。 日常的な話題について、英語の学習で取り扱われた文化について理解している。 <p>【書くこと】</p> <ul style="list-style-type: none"> 「書くこと」の言語活動に積極的、主体的に取り組んでいる。 間違うことを恐れず自分の考えなどを書いている。 自ら進んで書いたものを読み直し、意欲的に書 	<p>日常的な話題について、英語を正しく音読したり暗唱したりすることができる。</p> <ul style="list-style-type: none"> 正しいリズムやイントネーションなどを用いて、音読したり暗唱したりすることができる。 <p>日常的な話題についての英語で書かれた内容が表現されるように適切に音読したり暗唱したりすることができる。</p> <p>【話すこと】</p> <ul style="list-style-type: none"> 日常的な話題について英語で情報や考えなどを正しく話すことができる。 正しいリズムやイントネーションなどを用いて、話すことができる。 文法に従って正しく話すことができる。 伝えたい情報や考えなどを正確に話すことができる。 日常的な話題について、場面や目的に応じて、英語で適切に話すことができる。 伝えたい内容、場面、相手、目的などに応じて語句や表現を選択し適切に話すことができる。 相手の発話に対して適切に応答することができる。 場面や目的に応じて適切な速さや声の大きさで話すことができる。 相手の理解を確保しそれに応じて話すことができる。 <p>【書くこと】</p> <ul style="list-style-type: none"> 日常的な話題について、得た情報や自分の考えを英語で正しく書くことができる。 文法に従って正しく書くことができる。 伝えたい情報や考えなどを正確に書くことができる。 日常的な話題について、場面や目的に応じて、英語で適切に書くことができる。 内容を整理し、必要な分量を書くことができる。 	<p>【読むこと】</p> <ul style="list-style-type: none"> 「読むこと」の言語活動に積極的、主体的に取り組んでいる。 必要に応じてメモを取るなど、読んでいる内容に関心を持っている。 読んだ内容について意見や感想を述べようとしている。 必要に応じて辞書などを活用している。 さまざまな工夫をすることで、コミュニケーションを主体的に続けようとしている。 音読や暗唱に積極的に取り組んでいる。 <p>【話すこと】</p> <ul style="list-style-type: none"> 「話すこと」の言語活動に積極的、主体的に取り組んでいる。 間違うことを恐れず自分の考えなどを話している。 自ら学んだ表現や進んで集めた情報などを使って話している。 関心をもって質問している。 ペアワークやグループワークなどにおいて積極的に話し合ったり意見の交換をしている。 さまざまな工夫をすることで、コミュニケーションを主体的に続けようとしている。 うまく言えないことがあっても、別の語句や表現で言い換えたり、説明して伝えるなどの工夫をしている。 つなぎ言葉を用いるなど、不自然な沈黙をせず話し続けている。 <p>【書くこと】</p> <ul style="list-style-type: none"> 「書くこと」の言語活動に積極的、主体的に取り組んでいる。 間違うことを恐れず自分の考えなどを書いている。 自ら進んで書いたものを読み直し、意欲的に書き直したりしている。 自ら学んだ表現や進んで集めた情報などを使って書いている。 必要に応じて辞書などを
---	--	--	--

		<ul style="list-style-type: none"> き直したりしている。 ・自ら学んだ表現や進んで集めた情報などを使って書いている。 ・必要に応じて辞書などを活用している。 ・さまざまな工夫をすることで、コミュニケーションを主体的に続けようとしている。 ・よりうまく伝わるように、別の語句や表現で言い換えたり、説明して伝えるなどの工夫をしている。 ・表現できないところがあっても知っている語句や表現を用いて書き続けている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・伝えたい内容、場面、読み手、目的などに応じて、語句や表現を選択し適切に書くことができる。 ・文のつながりや構成を考えた文章を書くことができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 活用している。 ・さまざまな工夫をすることで、コミュニケーションを主体的に続けようとしている。 ・よりうまく伝わるように、別の語句や表現で言い換えたり、説明して伝えるなどの工夫をしている。 ・表現できないところがあっても知っている語句や表現を用いて書き続けている。
備考				